

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： (社) しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市真田町長 6918-1
評価実施期間： 令和1年8月10日から令和1年12月6日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) B16023 B18054	

2 福祉サービス事業者情報(令和1年12月現在)

事業所名： (施設名) 佐久市立 泉保育園	種別： 保育所
代表者氏名： 佐久市長 柳田 清二 園長 寺尾 明美 管理者氏名) 副園長 金井 八千代	定(利用人数)：140名(現在81名)
設置主体： 佐久市 経営主体： 佐久市	開設(指定)年月日： 昭和・50 年 4 月 1 日
所在地：〒385-0055 佐久市三塚300-2	
電話番号： 0267-62-1259	FAX番号： 0267-62-1259
ホームページアドレス： https://www.city.saku.nagano.jp	
職員数	常勤職員： 16 名 非常勤職員 名
専門職員	(専門職の名称) 名
施設・設備 の概要	(居室数)
	乳児室 1室 ほふく室 1室 保育室 6室
	(設備等)
	遊戯室 1室 調理室 1室 事務室 1室 便所 5室

3 理念・基本方針

<p>【佐久市保育 理念】</p> <p>子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り生きる力の基礎を培います。 ○養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。</p> <p>【保育目標】</p> <p>1、 自然の中で楽しく遊ぶ子ども 2、 心身共にたくまし子ども 3、 思いやりのある子ども</p>
--

【泉保育園 理念】

子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す

【園の目標】

- 1、 みんなと元気に遊べる子ども
- 2、 思いやりのある子ども
- 3、 あいさつのできる子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

園の方針

- 1、 豊かな人間性を持つ子どもを育成する

保育園の願い

- ・ いろいろな遊びを経験する事で、みんなで遊ぶ楽しさを共有し友達の気持ちを考えて行動できるようになって欲しい
- ・ 保護者との連携を大切にし、子どもの成長を共に喜びあっていきたい

子どもの姿

- ・ 忍者遊びを楽しんでいる
- ・ 体を動かして遊ぶ事を喜ぶ
- ・ お話の好きな子どもがおおい
- ・ 自己主張はできても、相手の話を聞く事が苦手な子が居る

本年度重点目標 {保育園で力を入れたい事}

- ① 自分の事は自分でする術 (基本的な生活習慣を身につける)
- ② 自然の中で遊ぶ術 (城山就業、春探し就業、虫取り就業、畑作り等)
- ③ 思いっきり体を動かして遊ぶ術 (運動遊び、鬼ごっこ、体操など)
- ④ 静かに話を聞く術 (灯りの会、絵本の貸し出し)

本年度研究テーマ

- ・ 友達と育ち有って行ける子どもを願って
—忍者あそびを通して—

5 第三者評価の受審状況

受審回数 (前回の受審時期)

初 回 (令和1年度)

6 評価結果総評 (利用者調査結果を含む。)

◇特に良いと思う点

- ① 保育環境に恵まれた中で保育がされていました。
○ 田園地帯で、近くに遊べる山があり、自然に恵まれていました。園から20分程に第2の保育園と言えるほど親しんでいる山があり、子どもたちは忍者遊びを楽し

んでいました。城山は忍者がいるという、子どもたちの中に思いがあり、忍者修行が生活の中にたくさんありました。遊びながら楽しん行くがコンセプトです。忍者の巻物（ラップ芯で一人一本）を活用し、保護者を巻き込む春の城山の草刈り秋には、親子修行が行われていました。10月～11月のご飯持参日は、おむすびを持たせてもらい園外で食べる腹ごしらえ修行が行われ食育が体験できていました。

○畑作りが（園庭内）行われ夏野菜のトマト・なす・じゃがいも・オクラ・スイカ・ポップコーン・サツマ芋等や訪問時には大根などが育てられ、子どもたちは、種まきや苗の植え付け収穫等多くの作物の育成を体験でき、給食に出される事で食育もされていました。

○園全体で忍者をテーマに保育がされ、子どもの興味を引き付けていました。園には忍者の歌が作られていました。卒園式前日に忍者修了証が渡され、入園式には、泉っこ忍者の仲間入りがされ全てに修行として楽しい活動に繋げていました。

② 見守る保育が特に感じる、保育がされていました。

○ちょうど訪問日に身体検査を行っていました。子どもたちは自分で脱着を行い保育士が見守る、〈自分の事は自分で行う、できることを頑張る〉、トイレにも廊下に長椅子を用意し自分でやる保育がされていました。

○トイレのスリッパも自分たちで揃える事が出来る様、しるしがされる等細かい保育がされていました。

③ 地域の方との触れ合い、学ぶ保育がされていました。

○灯りの会の読み聞かせボランティアの受け入れを行い、園での読み聞かせを行い絵本の楽しさ、また貸出しや、保育室の中には興味がわく様に黒板の所にページを開いた絵本が、どの保育室にも在りました。

○老人会（延寿会）による春に草団子作り・お手玉・あやとり・まりつきを、冬にはまゆ玉作り、どんど焼き・お話を楽しみ、一緒に昼食を取る等行っていました。

○地域の高齢者の入所施設の訪問を行い、歌などの交流を行っていました。

○未就園児「遊ぼう会」も開催され園児たちと関わりやどんど焼きを一緒に行い、園の様子を感じたり、保護者同士の交流を持つ事が出来ていました。

④ 学校との関わりが出来ていました。

○小学校は、隣接されており園児たちは、学校の様子を感じる事が出来ていました。

小学校との交流会は、児童会祭り・年長児と高学年の交流会・1年生との遊び交流会・学校の運動会参加等在り学校への期待や憧れが持てる交流が出来ていました。

○入学時に関しては、子育て支援課と連携を行い、小学校へのスムーズな移行が出来る体制が出来ていました。

⑤ 虐待に取り組みがされていました。

○虐待は、全職員で取り組み、研修・勉強会が行われていました。市からの配布物や副園長との研修がされ、まず家庭での虐待に注意を図る。子どもの様子や表情・体の傷・服装・他園児との関わり方等に注意を払い、どんな小さな気付きも副園長や同僚への相談を心がけていました。職員同士では、仕事の困りや、園児への接し方の様子の変化をお互いに気付き時は、副園長に相談すると、聞き取り調査で確認が出来ました。職員は、虐待について高い意識を持つ必要性をしっかりと感じ持たれて

いました。

- ⑥ アレルギー・感染症対策に取り組まれていました。
- 給食室、各保育室には色分けした食品やメニューが貼られ、食器もアレルギーがわかる対応がされていました。
 - 入園時にアレルギーの聞き取り調査もされ、全職員に周知が図られていました。朝会時に全職員にその日の食材が周知され、食品の確認が行われていました。
 - 感染症について子育て支援課の指示に基づきマニュアルに沿って行われ家庭と情報の共有をされていました。

◇特に改善する必要があると思う点

- ① 期待される職員像をお願いいたします。
- 人事考課制度や目標管理制度は、理念・基本方針を達成する為の全体目標やチーム、職員一人一人の総合目指す仕組みと思われます。全職員が、一層誇りを持ち張り合いを感じる、「期待される職員像」の改善をお願い致します。
- ② 家庭との連携に一層の連携をお願い致します。
- 特に家庭からの要望は有りませんでした。小さな傷、園児とのトラブル、不審者対策については、連絡をしっかりと取られることをお願い致します。意見要望が言いやすいよう意見箱等の設置もお願い致します。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価・・・（別添 1）
- ・ 内容評価・・・（別添 2）

8 利用者調査の結果

- ・ 別紙添付
アンケート方式（別添 3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）